

土砂災害から身を守るためには？「防災講演会in上市町」

近年、我が国、世界の各地において、過去に経験した事のない豪雨や巨大地震、火山噴火などの自然災害が発生しています。その自然災害により、想定を超える規模の河川氾濫や土砂災害、津波などが発生し、多くの命や財産を奪う被害を与えています。

一方、富山県内では、平成29年1月に南砺市において融雪に伴う土砂崩壊が発生し住民が避難する災害が発生しました。このような土砂災害は県内においても、いつ、どこで起きるか予測が難しい災害であるため、「いざという時に身を守るための防災情報（知識）」を知ることが大切です。

この様に土砂災害から身を守るために必要な「防災に関する様々な情報について学ぶ場」として「防災講演会in上市町」を開催しました。



開会の挨拶

尾畑 実行委員長 伊東 上市町長



講演者の方々

亀江 幸二氏 島崎 定則氏
西尾 衛氏 山崎 列子氏

参加者 約180名



会場の様子

日時：平成29年8月27日（日） 13:15～16:00
場所：上市町まちなか交流プラザ「カミール」4F大ホール

■プログラム

基調講演「土砂災害から命を守るために」

講師 砂防ボランティア全国連絡協議会長
(一財)砂防ボランティア整備推進機構 理事長 亀江 幸二

活動報告「防災士の活動について」

講師 富山県防災士会 事務局次長
NPO法人日本防災士会 富山県支部 島崎 定則

上市町からの報告1「土砂災害ハザードマップの取り組みについて」

講師 上市町役場 建設課 技師 西尾 衛

上市町からの報告2「災害対策を考える（自分の命は自分で守る事が出来ますか）」

講師 元かみいち総合病院 副院長（看護部担当部長） 山崎 列子



パネル展示
(立山砂防事務所・富山県)

亀江氏:土砂災害は、①突然発生する。②悲惨な災害。③予測が難しい。の特徴がある。
島崎氏:年々、防災士認証登録者は増えているが、未だ未だ防災に関心を持ってもらいたい。
西尾氏:平成19年度に県内初のハザードマップを作成し、平成20年度からも県内初のハザードマップの更新作業に取り組んだ。
山崎氏:危険を感じたら五感を働かせる事が大切で有る。行政に頼らず、自分で命を守る事が大切である。

共催：上市町・砂防防災講演会実行委員会
後援：国土交通省北陸地方整備局 立山砂防事務所・富山県土木部砂防課
協賛：●(一社)富山県治水砂防協会 ●(一社)斜面防災対策技術協会 富山支部 ●(一社)富山県建設業協会 立山支部
●(一社)建設コンサルタント協会 北陸支部 ●(一社)富山県測量設計業協会 ●(公財)富山県立山カルデラ砂防博物館

<砂防防災講演会実行委員会の構成団体>
●立山砂防女性サロンの会 ●NPO法人日本防災士会 富山県支部 ●(一社)北陸地域づくり協会 富山支部
●立山山麓防災・安全対策協議会 ●NPO法人富山県砂防ボランティア協会 ●立山・神通砂防スペシャルエンジニア(T・JSSE)

—立山砂防女性サロンの会—
立山砂防女性サロンの会は「平成28年度 防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されました。詳細については、平成28年度(昨年度)トピックの「Vol.24 H28.9.12」にも掲載されていますので是非ご覧下さい。